

六倉和生先生 : Ann Neurol (2009)65:557-568

**“最近よく物忘れが、、というあなたの未来を写します。アミロイド-PET！”**

**Amyloid Imaging in Mild Cognitive Impairment Subtypes**

【背景】認知症にも境界型(Mild Cognitive Impairment; MIC)があり、その中で 15-25%がアルツハイマーに移行します。MIC にはサブタイプがあり、物忘れがある amnesic-MIC(a-MIC)、物忘れがない(洋服の着方がわからないなど)non-amnesic MIC(na-MIC)に分けられます。今回は最近物忘れがというMIC患者さんに対し、アミロイドを同定するPETが、アルツハイマーへの移行を予知可能かについて検討されました。

【方法】a-MIC 19名と na-MIC7名に対し、アミロイドのLigandである Pittsburgh Compound B (PiB)静注後にPETを撮影し、アミロイド沈着の有無を検討。23名については、その後の追跡調査を行った。

【結果】PiB-PETにてAmyloide陽性患者はMCI患者の14/26(54%)に認め(アルツハイマー患者は全例陽性)、a-MICでは11/19(57%)、na-MIC 3/7(43%)であった。アミロイド沈着は、前頭葉中心で、海馬などの萎縮を認めたが、アミロイド沈着パターンは、a-MIC、na-MICに差を認めなかった。A-MCIのアミロイド陽性患者は、明らかに高齢、高学歴で、記名力や注意力の低下を認めた。1年から4年前後の追跡が行えた23名のうち、アミロイド陽性患者は5名/13名がアルツハイマーへと進行していたが、アミロイド陰性患者は、10名中に1名もアルツハイマーへの進展を認めなかった。

【結論】疾患予備軍から疾患発症への予知というのは、糖尿病に限らず極めて重要ではありますが、疾患がアルツハイマーとなると、ちょっと物忘れが出てきたからといっても、喜んで調べてもらいたいと思う検査ではない気がします。大学にも近々PETが入るそうですが、さて、順番は誰からにいたしましょう。。(文責 阿比留)